

「富士見中学校・吉田中学校」 小規模校対策検討委員会ニュース

第4号(最終号) 平成24年3月5日

第4回検討委員会 開催

■日時 平成24年2月10日(金) 14時から

■場所 関内駅前第一ビル 302号会議室

<第4回検討委員会での確認・決定事項>

○統合校の校名については、アンケート集計結果を尊重し、「吉田中学校」とする提案を事務局が行いましたが、検討委員会での無記名投票の結果、否決されました。

その後、校名の自由記入による無記名投票を行った結果、統合校の校名については、「横浜吉田中学校」に決定しました。

○検討委員会の意見書の内容についての確認を行い、最終的な字句修正等については、正副委員長に一任することで了承されました。意見書は、2月17日(金)に委員長、副委員長より教育長に提出されました。

<お知らせ>

今回の検討委員会をもって、すべての検討項目が終了し、昨年10月以降4回にわたって開催しました検討委員会は終了しました。

1 統合校の校名について

1 校名アンケート集計結果

～多数のご応募ありがとうございました～

名前	読み	応募総数	両校 生徒応募数	主な理由
吉田	よしだ	718	199	吉田という名前に愛着があるから。 古くからの歴史ある名前だから。
富士見	ふじみ	111	62	校舎がなくなっても、校名は残したいと思うから。
富士吉	ふじよし	19	14	お互いの名前を組み合わせる。
羽衣	はごろも	13	3	吉田中学校の所在地が羽衣町だから。 鳥のように軽やかに困難に立ち向かい羽ばたいてほしいと思うから。
富士吉田	ふじよしだ	13	2	両校の名前を残したいと考えたので。
伊勢佐木(崎) いせざき	いせざき	12	8	伊勢佐木町に近いから。
吉見	よしみ	8	4	吉田中の「吉」と富士見中の「見」を合体させた。
関内	かんない	5	1	JR関内駅に近く、地域の学校というイメージでわかりやすい。
富士見吉田	ふじみよしだ	4	0	両校の名前を残すため。
横浜	よこはま	4	2	横浜市内で統合するから。

(※) 生徒応募数は応募総数の内数

その他の案	(3票) : 新富士見、富士吉見田、吉田富士見、吉富
	(2票) : 富士田(ふじた)、山田、横浜臨港
	(1票) : 一中、F吉田、開港、かもめ、関外、桜木町、新富士見、第一、統合、富田、富吉(とみよし)、中区、浜中、人吉、富士山、富士田(ふじた)、富士見新吉田、富士見田、富士見第二、富士吉見、富吉(ふよし)、平成、本間、峰行、未来、元吉田、横浜中央、横浜ひかり、横浜平成、吉田2世、吉田総合、吉田富士、渡邊
合計958票の応募をいただきました。(※内訳: 地域・保護者等から639票、両校の生徒から319票)	

2 学校統合の考え方について

統合校の校名を検討するにあたり、事務局から学校統合の考え方について説明を行い、検討委員会で確認しました。

<学校統合の基本的な考え方>

富士見中学校・吉田中学校については、対等な立場で、両校の伝統・歴史を引継ぎながら、統合校として新しい学校を築いていく。

3 校名に関する事務局からの提案について

学校統合の基本的な考え方を両校の関係者（生徒、保護者、教職員）に十分に説明することを前提に、校名アンケート結果を尊重し、統合校の校名は「吉田中学校」とするという提案を行いました。

4 統合校の校名に関する主な意見 （◇は委員の発言）

- ◇校名アンケートの配布数は全部でどれくらいだったのでしょうか。
→検討委員会ニュースに挟み込む形で配布させていただいたものと、関係校の保護者や生徒向けに配布させていただいたものを合わせると、およそ35,000枚程度になります。
- ◇富士見中の保護者や生徒の間では、既存の校名は使うべきではないという意見が多くありました。今の富士見中と吉田中の生徒たちが足並みをそろえていくためには、新しい校名を検討するべきだと思います。
- ◇富士見中学校と吉田中学校は、全校生徒数がほぼ同数であり、対等な統合であると考えています。統合校の校名について生徒は「富士見中学校」、保護者は新しい校名という意見が圧倒的でした。事務局の提案では、富士見中側の意見を全く無視した結果になってしまうと思います。
- ◇富士見中学校の名前が消えてしまっても、「横浜吉田中学校」など、既存の校名から若干でも変わるのであれば富士見中学校の子どもたちも安心するのではないかと思います。地域や保護者の意見も大事だとは思いますが、両校の子どもたちには新しい学校を作っていくという思いを持って頑張ってもらいたいと思います。
- ◇学校の名前がどういう形になっても、新しい学校の中身が伴わなければいけないと思います。それを考えながら、検討を進めていくべきではないでしょうか。
- ◇アンケート結果を見てみると、事務局の提案もやむを得ず、意味のあるものではないかと思っています。
- ◇新しい校名案は色々出すべきではないかと思っています。新しく生まれ変わるという意味で、「新吉田中学校」が良いのではないのでしょうか。
→港北区に「新吉田小学校」があり、紛らわしいものになってしまうと考えます。
- ◇アンケート結果を参考にすれば吉田中学校になるのですが、いずれにしても子どもたちが新しい気持ちになって学校生活できるようにさせてあげたいと思います。
- ◇両校の保護者が対立的になるような物事の運び方はどうかと思っています。新しい学校を作るのであれば本当に真摯に両方の意思を汲むべきだと思います。
- ◇お互いに両校の学校を愛する気持ちで話し合っており、ここで決めるのは大変難しいと思います。
- ◇アンケート結果の扱いとして、一番得票数が多かった校名と違うものが選定された場合、アンケートの意義を問われてしまうような気がします。
- ◇アンケート結果に基づき、「吉田」という校名になっても、対等な学校統合であり、新しい学校を作っていくことだと認識しています。
- ◇アンケート結果について、吉田中学校と投票した方の理由が他にあれば教えてください。
→校名の由来に関する歴史を詳細に書いて応募された方もいました。また、吉田中学校の校舎を使用するから、といった理由や、50年前に吉田中学校から分離新設された経緯から吉田中学校とする意見もありました。
- ◇このアンケート結果が出ているにも関わらず、無記名投票等で最終決定するというのはどうかと思います。アンケート結果が僅差であれば納得するのですが、得票数にかなり差が開いている中では、少し無理があるのではないかと思います。
- ◇何をもって新しい学校のスタートとなるのかが具体的に見えず、子どもたちにもわかりにくいのではないかと思います。校歌や校章など色々な物が新しく変わっていくという想定で良いのでしょうか。
- ◇統合していくためには名前が変わるのが一番だと思いますが、仮に変わらなくても校歌などに富士見中学校の名前の一部を入れるようにすれば良いのではないのでしょうか。
→校歌や校章については、検討委員会終了後に両校の保護者、学校関係者、教育委員会等で組織し設置する予定の「統合準備委員会」（仮称）の中で、検討していただければと考えております。

検討の結果

事務局の提案に対し、「同意する」か「同意しない」かの無記名投票を実施しました。

【投票結果（投票総数：18票）】

「同意する」：8票

「同意しない」：9票

「白票」：1票

→事務局の提案は否決されました。

最終決定方法として、既存校名を含めた無記名投票を実施しました。

【投票結果（投票総数：18票）】

「横浜吉田中学校」：9票

「吉田中学校」：8票

「白票」：1票

統合校の校名は、「横浜吉田中学校」に決定しました。

2 外国籍生徒等への支援策（案）について

学校統合によって、外国籍生徒等が増加することに伴い、多角的な観点からの支援策を検討し、教育環境のさらなる向上を図っていきます。

現時点での検討状況

課 題	支 援 策（案）
教員の加配について(人事面)	
<ul style="list-style-type: none"> 国際教室担当教員の加配が両校に2名ずつの計4名が配置されているが、統合して1校になると、2名に減る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導が必要な児童・生徒数に応じ、市費での非常勤講師の配置を検討する。
ボランティア団体への支援や連携について(人事面)	
<ul style="list-style-type: none"> 学校ごとに支援している団体（個人、地域、大学など）が多数ある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの支援団体に対して、学校・教育委員会・学校教育事務所・区役所が連携・協力しながら、引き続き支援を依頼していく。 教員免許を持たないが語学補助を主とした補助指導員（通訳や翻訳等のボランティアの代わりとなる）を拠点校や方面別事務所に配置することを検討する。
学校配当について(予算面)	
<ul style="list-style-type: none"> 統合により、母語を用いた学習支援の学校配当が減る可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 統合により配当減とならないよう学校配当の積算方法を配慮する。
施設について(施設面)	
<ul style="list-style-type: none"> 統合校では必要な施設整備を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際教室等、必要な諸室について検討し、整備を行う。

<今後のスケジュール>

平成25年4月の学校統合に向けて、平成24年度中に各事業の制度設計、予算確保に取り組んでまいります。

3 統合後の富士見中学校の跡利用について

学校統合後の富士見中学校の跡地について、事務局から統合校の開校後は仮設校舎を速やかに解体撤去したい旨や、既存校舎についても、できるだけ早い時期に解体撤去したい旨の説明をしました。

また、跡地の活用方法としては、基本的には統合校の第2グラウンドとして学校行事や部活動等で活用していきたいということ、地域防災拠点を継続してほしいという意見が多くあることの説明をしました。

(跡利用に関する質問)

- ◇地域防災拠点というのは、体育館とグラウンドがあれば十分と考えて良いのでしょうか。将来的に何か新しい建物を建てる必要があるのでしょうか。
- 地域防災拠点については、およそ1,000人程度の避難者を収容できる施設が必要ということになっております。富士見中学校の場合は、体育館でおよそ300人程度収容することが見込まれております。地域防災拠点を継続するのであれば、残り700人程度を収容できる施設を作らなければいけないと考えております。

4 検討委員会からの意見書について

今回までの検討結果に基づき作成した意見書（案）について確認を行いました。最終的な字句修正については、正副委員長に一任することで了承しました。

なお、意見書については、平成24年2月17日付で小島委員長、安藤副委員長から横浜市教育長に提出されました。

小島委員長、安藤副委員長からは、「両校の保護者、地域の間では、意識の違いが見られた。これからは良い形で学校統合を迎えられるようにしていきたい。」という意見がありました。

それに対し、山田教育長より、「意見書の内容については十分に尊重してまいります。」との言葉がありました。

(※意見書については、別紙参照)



左から、安藤副委員長、小島委員長、山田教育長

5 第3回検討委員会以降に寄せられたご意見について

第4回検討委員会で以下の内容について紹介しました。

◇第3回検討委員会での吉田中側の委員の発言の中で、「受け入れる」という言葉がありました。この検討委員会は、「吉田中学校の校舎を利用した富士見中学校と吉田中学校の学校統合」という考え方なので、学校統合の考え方について説明してください。
→学校統合の考え方については、本日の検討委員会の中でも後ほど事務局から説明させていただくとともに、各学校においては必要に応じて教育委員会より説明させていただくことも検討してまいります。

◇学校名アンケートについて、既存の校名を使わないとすることを希望します。
→統合校の校名については、第3回検討委員会において、現校名（富士見中学校・吉田中学校）も含め選定できる公募方式に決定しました。

◇富士見中学校に仮設校舎が設置されることに伴う生徒への影響を考え、対応を検討してください。
→グラウンドが使用できなくなることについては、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。代替施設の使用等について、関係部署と調整・協議してきましたが、移動にかかる時間、引率体制等を考慮し、学校と相談して現時点では、学校以外の代替施設を使用することはせずに、現在ある体育館等を有効に活用して体育の授業を行うこととしました。今後も学校等と相談し、対応を考えてまいります。

◇学校統合に伴い、富士見中学校の通学区域の一部が平楽中学校に変更になるということですが、その対象者について、平成25年度新中学1年生のみとすることには反対です。現在の中学1年生や平成24年度の新中学1年生についても、学校統合時に統合校か平楽中学校を選択できるようにしていただきたいです。
→第3回検討委員会の中で、統合校の通学区域については、富士見中学校と吉田中学校の通学区域を合わせた形を基本とし、一部学区変更を行うことに決定しました。検討委員会での意見を踏まえ、学区変更対象者は平成25年度以降の新中学1年生と決定しております。
現在の富士見中学校の中学1年生や平成24年度の新中学1年生については、平成25年度以降、原則統合校に通学することとなりますが、個別に事情があり、統合校以外の学校への通学を希望する場合については、指定地区外就学許可制度での対応を考えております。

◇みなとみらい地区の中学校通学区域は現在吉田中学校となっていますが、徒歩での通学は遠距離になっており、バスや電車で通学している現状にあります。
この地区の中学校通学区域についてはどの学校が適切なのか、この機会に検討していただければと思います。
→「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会では、検討を進めていく上で、現在の吉田中学校の施設を利用する学校統合となりましたので、通学場所が変わることになる現在の富士見中学校の通学区域について検討することとしました。そのため、みなとみらい地区の通学区域については、同検討委員会とは別に検討することになります。

6 検討委員会事務局からのお知らせ

今回の検討委員会をもって、「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策委員会は終了しました。これまでご協力いただきました地域・保護者の皆様にお礼申し上げます。

今後、富士見中学校と吉田中学校の学校統合については、教育委員会の議決を経て、市会に提案し、市会での議決により正式決定することになります。



「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧になれます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>
- ・「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/naka.html>

「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会事務局連絡先

「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会事務局

(学校計画課・教育施設課)

TEL: 045-671-3252 FAX: 045-651-1417
Eメール: ky-naka@city.yokohama.jp



発行：「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会事務局